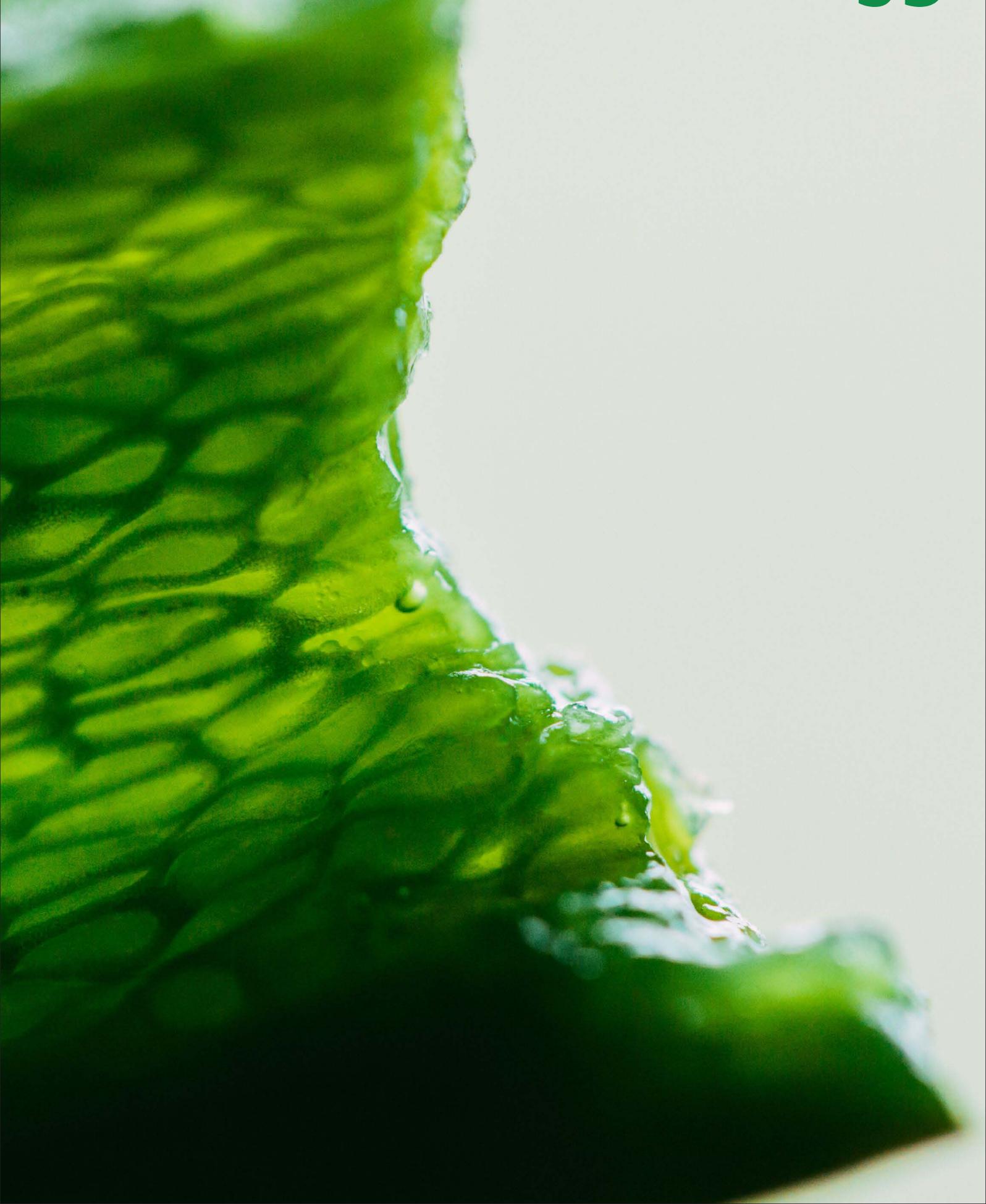


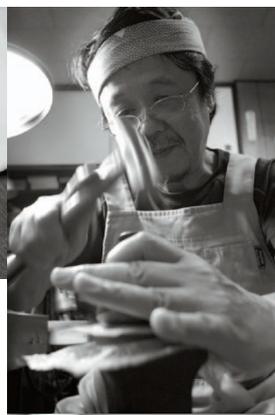
住まいの飾り職人“アトムリビントック株式会社”の広報誌 [アトムニュース]

# ATOM NEWS

2016 AUTUMN

193





KANAGU

[kanagu-store.com](http://kanagu-store.com)



- 3 古今東西たてものがたり 神奈川県鎌倉市 鎌倉文学館
- 7 住まいに役立つ仲間たち あなたのお家の『床』はどうですか?
- 9 Vegetable Atelier スイートハラペーニョ
- 10 石の神様・仏様 永遠のサイクル
- 11 What is ATOM? アトムリビンテックって、どんな会社? **4**
- 13 幸せの国への静かな道 和歌山県・奈良県・三重県
- 17 SLOWでいこう 屋久島・最終回 屋久島ツアーガイド <sup>たびら</sup>旅楽
- 18 オフタイム

今号の表紙

写真 スイートハラペーニョ

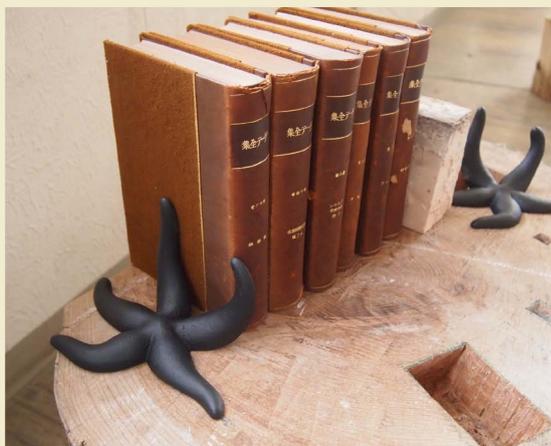


「スイートハラペーニョ」については  
9ページでご紹介しています

photo by 吉田周平

1981年神奈川県南足柄市生まれ。千葉県八千代市在住。娘の誕生をきっかけに写真に会う。あるがままの日常を独自の視点で撮影する。

## 読者プレゼント Present



### ● ブックエンド「新種：陸ヒトデ」

これほどまでに生命力溢れるブックエンドがかつてあったでしょうか。富山県高岡を拠点に活動している金工作家 青木有理子さんの作品には、見た人が思わず「クスッ」と笑顔になる仕掛けがちりばめられています。「新種：陸ヒトデ」も、ゆっくりとカタチを変えながら本の隣を離れてしまいそうなヌメツとした質感が特徴。それを金属で見事に表現しているところがおもしろいですね。

オブジェとして秋のインテリアのアクセントにも。2つセットでお届けします。

[サイズ] W170×D90×H90mm [材質] 鉄(生型铸造) [重量] 650g [色] 黒  
[販売価格] 1個 4,300円 + 消費税 made in Japan design: 青木有理子

巻末のハガキ・FAXまたはホームページのアンケートにお答えいただいた方のなかから抽選で4名様にプレゼントいたします。

**締め切り** 2016年10月31日(月)

● 当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます

### ギャラリーショップ KANAGU

職人・金属・手しごとをキーワードに、  
こだわりのアイテムを取り揃えています。  
どうぞお気軽にお立ち寄りください。



奈良、京都に並ぶ政治の中心地であり「鎌倉幕府」誕生の地として、独自の文化を生み出してきた古都・鎌倉。明治以来、鎌倉には多くの文学者や芸術家たちが集い、文化の華を咲かせてきた。「鎌倉文学館」は、その鎌倉ゆかりの文学者の資料を収集保存し、展示することを目的として、昭和六十年（一九八五年）に開館。平成十二年（二〇〇〇年）には国の登録有形文化財に登録されている。

なみ 涛の音を聴き大島を遠望する

テラスに立つと、目の前に由比ガ浜の海が見える。晴れた日には彼方に伊豆大島が遠望できるといふ。

三方を緑の山に囲まれ、南に開けた広大な敷地に建つ旧加賀藩主・前田侯爵家の別荘。現在の鎌倉文学館の建物である。この館を作家・三島由紀夫は、小説『春の雪』の一場面に「青葉に包まれた迂路を登りつくしたところに、別荘の大きな石組みの門があらわれる。（中略）先代が建てた茅葺きの家は数年前に焼亡し、現侯爵はただちにそのあとへ和洋折衷の、十二の客室のある邸を建て、テラスから南へひらく庭全体を西洋風の庭園に改めた」と描写している。

前田家の別荘は、明治二十三年ごろに第十五代当主・前田利嗣としつぐ氏が茅葺きの和

館を建てたことにはじまる。館は鎌倉の海の涛の音を聴く「聴涛山荘」と命名された。

だがその後、明治四十三年に類焼によって焼失。洋風に建てかえたものの、ふたたび関東大震災で倒壊。新たに二階建ての洋館が再建されたが、第十六代当主の前田利為としなり氏がさらに改築にとりかかり、『春の雪』に描かれた洋館が竣工する。昭和十一年、いまからちょうど八十年前のことである。

新しい邸宅は、鎌倉時代に長楽寺という寺がこの地にあったことから「長楽山荘」と名づけられた。

和洋折衷の山小屋風デザイン

建物は、鉄筋コンクリート造の平屋に、木造二階建てをのせた三階建て。ヨーロ



源頼朝が鶴を放ったという故事から名づけられたトンネル「招鶴洞」



山小屋風のイメージが漂う手斧削りの木彫が施された木扉のある玄関



テラスに出てみれば手入れの行き届いた庭園や、由比ガ浜の海が一望できる



昭和11年の写真。居間兼客間には書院造に暖炉があった

写真提供：鎌倉文学館 写真：永一 蔵

「文学都市かまくら」を象徴する邸宅





部屋ごとに意匠をこらした照明が設置され、頭部が斜めに喰い込んだ左の照明は竣工当初の施工ミスのまま置かれている

ツバの山小屋をイメージし、木造構造が見えるハーフトインバーという建築様式を基調としている。

外観は、鮮やかな青色のスパニッシュ瓦と、明るいクリーム色の外壁。建物西側の塔状部分にあるベイウィンドウや、ベランダの手摺りなどに洋風テイストを

採り入れているが、東側にある切妻屋根や深い軒出などには和風テイストが感じられる。全体としては洋風と和風が混在する和洋折衷のデザインである。

また、車寄せの柱や玄関扉に見られる手斧削りは、山小屋風の雰囲気や醸しだし、透かし彫りが重厚さを添えている。

大理石の玄関を上って邸内に入ると、内部はシンプルで直線や単純な図形によるアール・デコ様式。かつての居間兼客間（現在は「常設展示室1」）の床は、モザイク模様の寄木張りで、大理石の暖炉があり、その脇に書院造風の違い棚や窓がしつらえられている。

その違い棚の隣には、明かり採りとして色彩豊かなステンドグラス。部屋全体が和洋折衷の佇まいとなっているが、それが違和感なく和やかに溶けあっている。さらに部屋ごとに、デザインが異なるステンドグラスが華やかさを演出しているほか、和洋のバランスが絶妙な照明が設置されているのも見どころのひとつである。

### 戦後はデンマーク公使の別荘

竣工から八十年におよぶ邸宅の歴史のなか、ここを住まいとした人物たちのエピソードが、なかなか興味深い。

ひとりはいまでもなく、建築主であった第十六代当主の前田利為氏。氏は、芸術や歴史に造詣の深い文化人として知られ、陸軍の幹部を歴任した軍人でもあった。

太平洋戦争の初期に、南方戦線のボルネオに駐留する部隊の司令官として赴任。しかし、昭和十七年、搭乗機がボルネオ沖で消息を絶ち、戦死。憂国の志半ばにして、悲劇の將軍と称された。

代わって邸宅の主となったのは、第十七代当主の前田利建氏（七代）である。が、敗戦と同時に米軍に接収され、デンマーク公使の別荘として使われることになる。

ただし、接収は廊下の真ん中に壁を造り、三階建てをそのまま縦割りにして、東側部分に公使が、西側に前田家が住む「共有」形式であった。当時、戦後の食糧不足の折から、芝生の庭は畑となり、カボチャやサツマイモが植えられ自給自足の用に供されたという。

### 庭園とバラの館

その後、接収は二年ほどで終わり、昭和三十九年からは当時の首相、佐藤栄作氏が借り主となり、亡くなるまで静養の地として過ごした。

施政方針演説の前日などには、バルコニーの窓を開け放ち、大声で演説の練習

上下の蝶番から剣のように伸びたアイアンの装飾部分とドアノブのテイストが、手斧削りの扉と相まって、シンボリックな玄関に。明かり採りの役割を果たしている窓と扉上部の欄間の透かし彫りにも、こだわりがうかがえます。



敷地に足を踏み入れたとたん、体感温度は-5℃、ひんやりと涼くなりました。喧騒を瞬時に忘れさせてくれる、頭上まで緑で覆われた邸宅までのアプローチが贅沢です。加えて3ページでご紹介の通り、建物から海が臨めるシチュエーションはこのコーナー初。自然の魅力を存分に楽しめる館です。



撮影：アトムニュース編集室

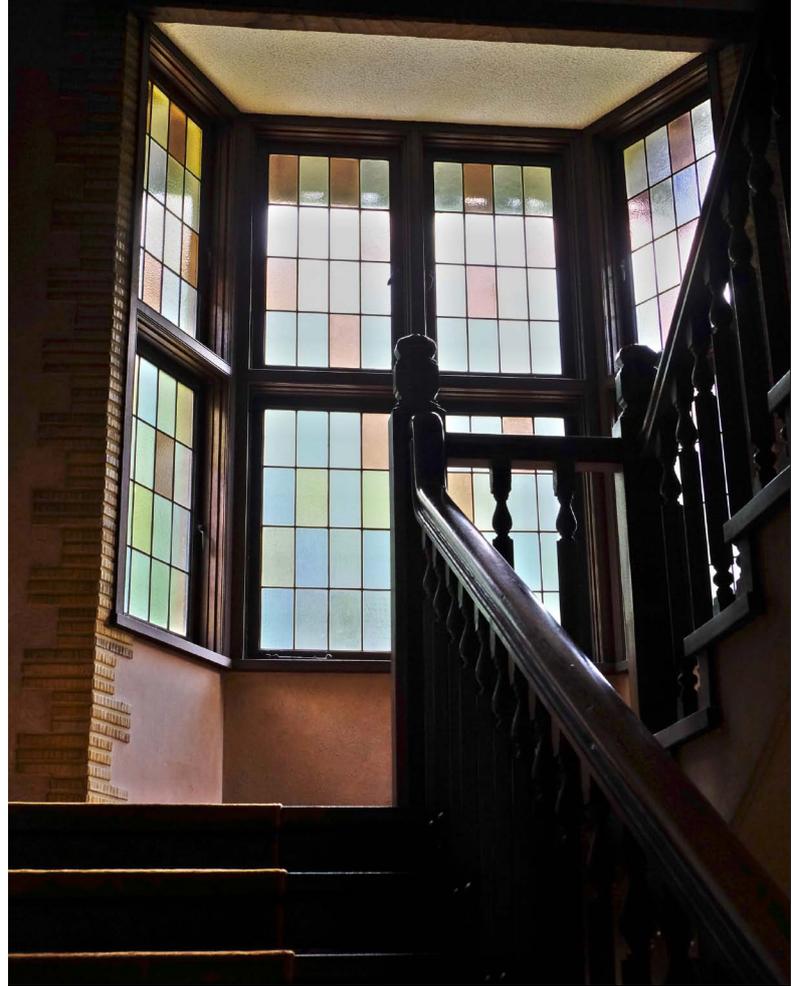
## アトムの視点



アール・デコ様式にデザインされた部屋のベイウインドウから庭園が見渡せる



手斧削り風に仕上げられた手摺りや柱のあるペランダに爽やかな風が吹き抜ける



3階へ繋がる階段の踊り場にある窓は淡い色彩の色ガラスのコンポジションが美しい

をしていたという。寛子夫人の回想によれば、近くに住まいのあった作家・川端康成氏とは親しい付き合いがあり、川端家の庭に群生していた大好物の春の薔を摘みに出かけたりした。ノーベル平和賞受賞の知らせを受けたのも、この邸宅であった。

佐藤榮作氏の没後、昭和五十八年に邸宅は第十七代当主から鎌倉市に寄贈され、建物の外観を残しながら、補修と増改築が施された。

そして昭和六十年、鎌倉ゆかりの文学者の直筆原稿や手紙、愛用品などの文学資料を収集保存し、展示することを目的に「鎌倉文学館」として生まれ変わったのである。

鎌倉文学館では、常設展示のほか、定期的に特別展が開かれ、庭園を利用したコンサートなどのイベントも開催される。美しいバラ園には約二百種二百五十株におよぶバラが栽培され、春と秋の花ざかりには散策しながら花々を愛でる楽しさを味わうことができる。

そのバラ園を見下ろしながら、庭園にたたくみ、爽やかな風に吹かれてみる。山鳥の声が、邸宅を囲む山にこだました。鎌倉文学館の秋は、華やかなバラの香りの季節である。

## INFORMATION

### 鎌倉文学館

- 所在地：神奈川県鎌倉市長谷1-5-3 ● TEL. 0467-23-3911
- 開館時間：3月～9月 9:00～17:00 (入館は16:30まで)  
10月～2月 9:00～16:30 (入館は16:00まで)
- 休館日：月曜 (祝日開館、翌火曜休館)  
年末年始、展示替期間、特別整理期間など
- 観覧料：展覧会により異なる
- 交通：JR鎌倉駅、JR・小田急藤沢駅で江ノ電に乗り換え  
「由比ヶ浜駅」下車、徒歩7分
- ホームページ：<http://www.kamakurabungaku.com/index.html>



鎌倉にゆかりのある名前を持つバラや世界的に知られるバラが美しさを競う

## 土間と床

ひと昔前の日本の一般的な家には、土間があり、靴などを脱ぐための上がり端があり、その先に板の間が続き、その後畳の間に続きます。これら一連の流れは、足の汚れを畳の間に持ちこまないための知恵でもあったのです。



住まいに役立つ  
仲間たち

FLOOR

# あなたのお家の『床』はどうですか？

おそらく、あなたのお家の床は板張りフローリングではないですか？初めて部屋のドアを開けるとまず視界に入るのが壁と床です。家具のない状態では床が部屋の表情を決めてしまします。板の床に暮らすのか、畳の部屋に暮らすのか、または欧米のように部屋の中を土足で生活するのか、それにより大きく生活は変わってきますが、あなたはどれを選択しますか？

## 土足の国と裸足の国

石の建築物の中を土足で生活する欧米の人たちの床はタイルが主流です。それに対して木造の家に住む日本の住宅は、靴を脱ぎ裸足で床へ上がるのが当たり前です。海外へ行くとこの違いがよくわかりますが、この文化だけは大切にしてもらいたいものです。



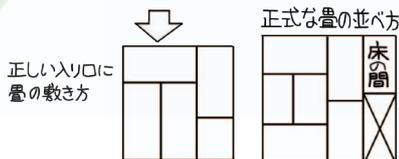
## なぜ日本人は昔、椅子を使わずに座っていたのか？

昔は家族全員が、6畳や8畳の間で食事をし、また布団を敷いて寝ていました。つまり椅子などの邪魔になるものを置かず、部屋として何通りもの使い方ができる、座る生活スタイルを選択したのでしょ。



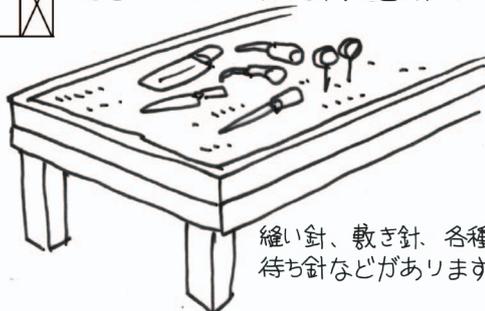
## 畳が織りなす物語

アトムでも以前畳を扱っていたことがありますが、畳というものを使う文化は日本固有のものです。乾燥した稲穂を固めた畳床の表面にイグサを使い製作します。畳の形は2:1の比率で構成され、4畳半や6畳などのそれぞれの場所に応じた並べ方ができるのです。



\* 出入りが激しいところには、編み目によって敷くと傷みが少ない

畳をつくる時に使う金属の道具たち



縫い針、敷き針、各種の包丁、待ち針などがあります。

昔、畳はお金持ちの持ち物でした。祝儀や不祝儀のときだけ敷き、普段は敷いていませんでした。



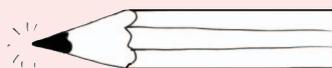
塩浦 信太郎

信太工房主宰/カラクリ作家。博物館や科学館へのカラクリの貸し出し、ホテルなどからのオーダーによる作品制作、ほかにデパート各店での展示販売などを行っている



## 数奇な運命の果て

鉛といえば子どもの時から身近な存在である鉛筆が思いうかびます。鉛は紙や革の上に文字を書くことができたので、古代ローマの時代から筆記用具として使われてきたことが語源となって鉛筆と呼ばれているのですが、今では鉛筆に鉛そのものは入っておらず、黒鉛と粘土を混ぜたものを使います。その昔はそのまま鉛の原石を使用していたため鉛の中毒患者が出たようです。



鉛といえば、だれもが身近なものはレントゲンのときに放射線技師や患者などが身につける防護衣ではないでしょうか？鉛は放射線を遮断するのに有効な素材として扱われています。

では、その鉛とは一体、どのような鉱物なのでしょう？なぜ鉛は放射線を遮断できるのでしょうか？

その疑問の答えは比重にあります。比重とは素材の密度のことで、鉛は極めて比重が高く密度も高いため、放射線をブロックすることができるのです。また、少しの量でもとても重いので、その性質を活かし、釣りの重りにも使われています。



私が鉛に特に興味を持った理由は、ウランから鉛への変化の過程にあります。ウランはそのままにしておくと長い年月をかけて放射性壊変ほうしゃせいかいへんという内部破壊をくり返して崩壊し変化していきます。大まかに説明するとウラン(238)→トリウム→ラジウム→ラドン→ポロニウム→鉛(206)に変化し、安定して落ち着くのです(実際にはウラン(238)の半減期は約45億年ですから破壊の過程を十幾つも経て変化し続けた産物が現在の鉛ということです)。

福島原発で作業員が身につけ放射線を防いでいる鉛の板も、もとは原子力のもとになるウランから変化してできた鉛だと思えば何かの因果を感じるの私だけでしょうか。

## 魔法のジュータンがやってきた

ジュータンは秀吉の時代、中国から入ってきていたようですが、一般家庭に入ってきたのは、昭和のはじめ、応接間というものが家の中につくられてきてからかもしれませんね。



## 畳の間と板の間の段差をなくす

近年畳の間を持つ家が減少しています。日本人は畳の良さを知っているのに、なくなることはないでしょうか？板の間と畳の間の段差に足を取られ転びそうになった経験はありませんか？この点も最近では高齢者のためにバリアフリーの考え方を活かした、段差のない造りが当たり前になってきています。

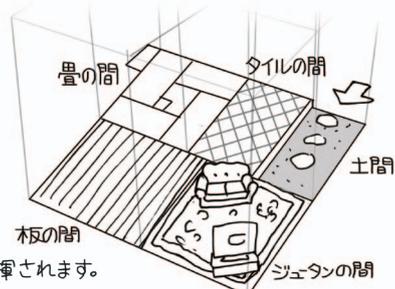
## 日本人はどうして板張りの床が好きなのか？

天然の木には素材に触れる心地よさがあります。加えて、昭和の人には、日向ぼっこをした縁側の記憶も、板張りの床の良さを忘れられない理由のひとつかもしれません。(私だけですか?)



## これからも床は、私たちを楽しませてくれます。

ますます、多様化する床、土間があり、タイルの間があり、板の間があり、ジュータンの間があり、畳の間がある、これからの「床」は気分に応じて楽しめる。とても贅沢な空間になるかもしれませんね。



\*床は素材により、それぞれの長所が発揮されます。

# 苦みの縁に 甘みのまっしろ。 目でも舌でも味わって。

—— スイートハラペーニョ

つやつやの外皮は、  
胸のすくような香りと苦み。  
さくさくとした歯ごたえも魅力です。  
もうひとつの特徴は、  
中にぎっしりつまった種。  
わざわざ取り出す必要がありません。  
やわらかな食感と、  
ほんのりとした甘みを楽しめますよ。  
ふたつの食感が混じり合えば、  
絶妙な味のハラペーニョに。

そんなスイートハラペーニョ、  
おすすめのお食べ方は「そのまま生で」。  
バルサミコ酢をかけて、  
シンプルなサラダでめしあがれ。



クリタタカシ 野菜農家「キレド」代表。サラリーマン時代に出会った「梨のような大根」に感銘を受け、農業の道に。現在は千葉県四街道市にて、年間150種類以上の野菜を栽培している。「野菜の一生をみる」「レストランでしか食べられないような野菜を、食卓にも」を基本理念として活動中。同県千葉市には、とれたて野菜を味わうことのできる「キレドベジタブルアトリエ」も。

キレドベジタブルアトリエ  
千葉県千葉市若葉区小倉台5-13-4-1F  
<http://www.kiredo.com>



石の  
神様

仏様

22

埼玉県秩父市 四萬部寺<sup>しまぶじ</sup>

## 永遠のサイクル



お寺や神社の境内の片隅や道すがらにひっそりと立つ、石の神様・仏様。時によっては、立派なお堂の中に祀られた国宝の仏像よりも力強く、わたしたちに何かを語りかけてくれます。

今年もまた、秋が深まってきました。

あと少しで葉っぱが全部落ちて、静かな季節が訪れます。

樹木は春になれば再び葉が茂り、花を咲かせるけれど、

自分は死んでしまったらおしまいだと、

あなたは思っているかもしれません。

けれど、こうして少し高いところから眺めていると、

人間も樹木も動物も虫も、地上にあるすべてのものは、

みな同じ輪の中でぐるぐる回っていることがわかります。

つまり、命のサイクルには、

「終わり」という概念がないのですね。

だからあなたは

「何もなしとげないうちに年を取ってしまった」と焦ったり、

「自分は人と比べてなぜこうもダメなのか」なんて

悩む必要はないんです。

今の人生では、回る輪の中で、ゆったりとした流れを楽しみ、

時が来たら、別の人生に移っていく。

そんなことを繰り返しているうちに、

きっとあなたは何かを成し遂げます。

そうなるように、わたしたちは高いところから祈っていますよ。

### 四萬部寺 (埼玉県秩父市)

秩父の三十四ヶ所観音霊場巡りの一番札所。性空上人というお坊さんが弟子の幻通に、「秩父の里へ仏恩を施して人々を教化しなさい」と命じ、幻通はこの地で四萬部の仏典を誦誦(どくじゅ)して経塚を建てました。それがこの寺の名前の由来です。広い境内には小山もあり、あちこちに、美しい石仏が点在しています。

● 秩父鉄道銅黒谷駅から徒歩45分



文・写真 吉田さらさ 寺と神社の旅研究家

寺、神社、仏像に関する執筆と講師が主な仕事。取材旅行を重ねるうちに、石の神様、仏様の像の魅力に気づき、写真を撮って「お言葉」を考えるのがライフワークとなった。2014年秋に、撮りためた写真をまとめた本『明日がちよっと幸せになる お地藏さまのことは』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)を上梓。その他、『近江若狭の仏像』、『石仏・石の神を旅する』(いずれもJTBパブリッシング)など、著書多数

<http://sarasa77.hatenablog.com/>

**Q1** はじめに「折戸」について説明をお願いしますか？

**A** 「折戸」とは読んで字のごとく、開いたときに折りたためるようになっている「戸」のことで、丁番で連結されています。皆さんがよく見かけるのは、クローゼットやユニットバスの出入り口、あるいはバスの前

扉などでしょう。間口が広くとれないような場所に使用われて、利便性を発揮しています。私どもが業界に先駆けて開発した「住宅用・折戸システム金具」は、現場での施工もよりスピードアップするとともに、設計面でも広い収納スペースが確保できるなど、多くの利点から画期的な商品として迎えられたのです。

# What is ATOM?

アトムが扱っている商品のなかから、代表的なものをご紹介しますシリーズ第2弾。今回は1979年に開発・販売された住宅用折戸金具「HDシステム金具」について、高橋良一社長にお聞きしました。

アトムリビンテック株式会社  
代表取締役社長 高橋 良一

1949年生まれ。1969年入社。集配センター、研究室、営業管理部、販売部等を経て、1980年、代表取締役副社長。1984年、代表取締役社長。



**Q2** 開発にいたったきっかけを教えてください

**A** 私どもが折戸システム金具を国産化する前は、アメリカからの輸入品がごく一部のホテルなどで使われていた程度でした。日本ではまだまだ馴染みのない建具方式ですから、開発案件として上がってきた際には、社内での受け止め方にもむしろ不安を抱く向きが多かったのです。いままでの金物とは、まったく異なった多数部品の組み合わせ（すなわち多額の金型投資）や、普及させるためのPR方法（従来にない広告宣伝費）などが想定され、いわば二の足を踏むような空気がありました。たまたま私は、かつてのアメリカ旅行で一般の住宅やマンションに「折戸」が使われているのを見ていました。あるいは「日本でも売れるのでは…」と思い、その旨を先代社長に進言した経緯があります。

**Q3** 開発・販売にいたる苦労も相当なものだったのではないのでしょうか？

**A** はじめのうちは、なかなか住宅メーカーさんに採用してもらえず、営業的にも大変な苦戦を強いられました。当初は売れるまで3年かかると予測されていましたが、実際は4年かかりました。カタログには業界で初めてイラストによる説明を加え、当初は施工指導のために現場へおもむき、たび重なる商品説明会を各地で開くなど、地道な活動と努力の積み重ねにより、しだいに認知されるようになったのです。



**アトムリビンテック株式会社 会社概要**

- 創業 1903年(明治36年)
- 設立 1954年(昭和29年)
- 代表者 代表取締役社長 高橋 良一
- 資本金 3億74万円(平成28年6月期末)
- 従業員数 113名(平成28年6月30日現在)
- 本社所在地 東京都台東区入谷1-27-4
- 年商 99億1,300万円(平成28年6月期)
- 事業内容 内装金物(住まいの金物)の企画・開発・販売



当社の業績概況や事業戦略にスムーズにアクセス！アトムリビンテックの「株主・投資家情報」サイトをぜひご利用ください。

[www.atomlt.com/ir](http://www.atomlt.com/ir)



## 「企画開発型企業」とは？

ひとくちに「企画開発」といっても、その作業は多岐にわたっています。たとえば、製品の試験研究や品質管理、工業所有権の調査・確認といった「基礎技術」に始まり、柔軟な発想で商品化に繋げる「開発・設計」を経て、時代のニーズや消費者行動の変化を先取りし、次世代をにやう製品を世に送り出すまでが大きな流れです。

当社の「企画開発力」は、特許出願中のものを含めて220件を超える「工業所有権(出願中含む)」や、年間100件以上におよぶ「新商品開発検討案」の件数にも象徴され

ています。さらに年間の「商品化件数」も数十件ののぼり、取り扱い商品のうち80%が「自社開発商品」であるという実績によっても証明されています。

創業以来110余年の歴史のなかで培われてきた「創意・誠実・進取」という哲学と理念を背景に、これからも「繊細なものづくりの精神」「独り歩きのできる商品づくり」を反映した「企画開発型企業」として、積極的に取り組んでいきます。

### 新商品リスト

販売年	商品名
2011年	引戸ソフトクローズ(跳ね上がり抑制機構) プッシュツマミAFD505
2012年	引戸ソフトクローズ(重量用) ケース錠錠KV51 戸当りクッション
2013年	引戸ソフトクローズ(2way) チューブラ錠錠ワイドエスカッション
2014年	シンクロ連動ユニット HD簡易施工タイプ
2015年	引戸ソフトクローズ(FCX) HD折戸ダンパー

### 金型保有高の推移



## INFORMATION

## アトムリビンテック「2016秋の内覧会」のご案内

### 大阪会場

10/  
13(木) 14(金) 15(土)

### アトム住まいの金物ギャラリー大阪

tel.06(6821)7281 大阪府吹田市市広芝町18-5  
10:00~18:00 \*最終日は17:00まで



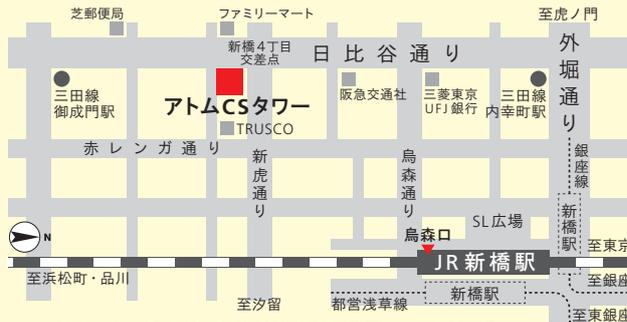
御堂筋線・南北線「江坂駅」南改札より徒歩8分

### 東京会場

10/  
19(水) 20(木) 21(金) 22(土)

### アトムCSタワー

tel.03(3437)3440 東京都港区新橋4-31-5  
10:00~18:00 \*最終日は17:00まで



JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋駅」より徒歩8分  
都営三田線「御成門駅」・「内幸町駅」より徒歩8分

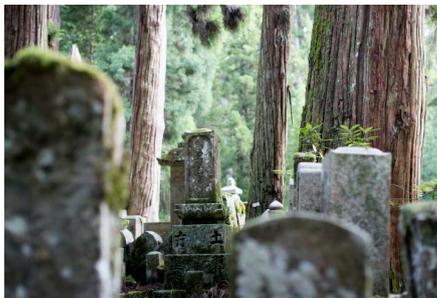
ご来場ご希望の方は、アトムリビンテックホームページより招待状をプリントアウトしてお持ちください。 <http://www.atomlit.com>



静かな道  
静かな道

# The Quiet Way to the Happy Country





# 千二百年前の静かな道

和歌山県・奈良県・三重県

遙か眼下に、壮大な雲海のパノラマが広がっていた。

それは、静謐なる幽玄の世界。

雲海のさざ波は、深山の渚に打ち寄せ、山間に漂う。

樹々の梢を揺らした風が、ふと問いかけた。

「おまえは何者なのか？」と。

聖なる地、と呼ばれる「紀伊山地の霊場と参詣道」。

紀元前の創建と伝えられ修験の行場であった神社があり、

仏名を配した十二柱の神々が鎮座する総本宮があり、

千二百年前に開創された天空の仏教寺院が建ちならぶ。

深閑とした森の、漆黒と静寂。急峻な山岳の連なり。

苔むした石畳の古道。心をうるおす、清冽な川のせせらぎ。



霊場と霊場をむすぶ数百キロにおよぶ巡礼の道は、  
魂の浄化と再生を願う、祈りの旅だ。

吹き抜ける風が、ふたたび問いかける。

「おまえは何処に行こうとしているのか?」と。

永遠の謎を解き明かそうとするように、

誰もが、その答えを探し求めつづけてきた。

だが「心のまほろば」への道は、峻しく、遠い。

写真 齊藤文護 一九八〇年 日本大  
学芸術学部写真学科卒業。日本広告  
写真家協会会員、京都写真芸術家協  
会会員。伊勢国一ノ宮権天神社専属  
撮影、山王総本宮日吉大社HP写真  
コーナー担当。「こころみプロジェクト」  
「草の根」この写真の会主宰



文倉田ひさし 長野県生まれ。日  
本脚本家連盟員、日本放送作家協会  
会員。女性誌や社内報誌編集者を  
経てフリーランス。ルポルタージュ、  
インタビュー記事執筆のほか、ラジ  
オ・TVの番組企画、台本づくりに  
関わる。著書『松本山雅ものがたり』



田平拓也さんが主宰する「屋久島ツアーガイド旅楽<sup>たびら</sup>」は、屋久島の撮影コーディネイトからツアーガイドまでおこなっています。オフィスは屋久島空港からほど近く、「ギャラリー TABIRA」を併設。屋根には緑化が施されたとても素敵な空間になっています。今年の11月28日には、屋久島の研究者が集まる屋久島学ソサエティでトロッコ道に「小杉谷写真展」を開催するなどの活動も積極的におこなっています。

屋久島篇・最終回

## 威風堂々とした縄文杉

人々はなぜ縄文杉に会いに行くのでしょうか？  
そのこたえは、人それぞれちがうと思いますが、  
それでも、屋久島の森に出会うだけでも、人々は  
何か大切なものを得て帰るような気がします。  
自分自身を見つめ直す、その象徴が縄文杉なのでしょう。  
(耳寄り情報) この島には、まだまだ手が届かない所に  
第二の縄文杉もあるようですから。

## 巨木が育つ理由

「なぜ、この森は巨木が育つのか？」  
屋久島の森に入ると誰しもが持つ  
疑問だと思います。  
そのこたえは、屋久島の持つ独特の環境に  
あります。屋久島は標高が高い山を持つ大きな  
花崗岩の島です。  
大地の中にはクリスタルのほか、さまざまな岩石  
が混ざっています。その大地に杉などの植物が、  
根を張っているのですが、雨量が多く植物にとっては  
とても過酷な環境といえます。少ない養分をとるためには  
長く根を張らねばならず、その結果硬く油分の多い  
杉が育ったわけです。



## ふたたび、木こりになる

田平さんは、これまで縄文杉へは2,000回以上  
ツアーを通して訪れており、多くの時間を過ごしましたが、  
なん度訪れても、自然の美しさに感動すると言います。  
それをさらに深く探求するために、再度木こりとして  
活動するそうです。

この美しい森をアート  
を通して伝えたい!



profile 田平 拓也 [たびらたくや]

1976年長崎生まれ。鉄工所を営する両親のもとに育つ。高校卒業後、地元の大学で学び、その時代にスペイン人のアントニオ・ロベス・ガルシアの絵に遭遇。涙を流すほど心を動かされる。ある時から、自然とアート両方の道に進みたいと考え、そのためには、まず「木こり」として自然を学ぼうと思った。そして長崎から黄色いスーパーカブにまたがって、一路屋久島をめざした。田平さんは木こりの師匠、高田久夫さんの意思を受け継ぎ、屋久島の森から彼ならではの新たなアートを発信し続けている。

読者の声

トレピスは美味しいでしょうね。食べてみたいです。

〈神奈川県 N・I様 男性〉

新たな企画、「食」に関する「農」のテーマは日本人として、次世代に受け継がれるべき課題。期待しています。「つなぐ」という意味では建築金物に通じますね。

〈東京都 maru様 男性〉

誌面の配色がきれいでした。内容も多岐にわたり飽きません。次回も楽しみにしています。金沢・石川方面とりあげて下さい。

〈千葉県 I・T様 女性〉

押し入れの記事とても面白かったです。押し入れ、時代によってさまざまな形に変化してきたのですね。確かに将来の押し入れどうなるのだろう…。我が家の整頓されていない押し入れ、今週末にでもお掃除しようかな。

〈兵庫県 T・S様 女性〉

日本橋高島屋には子どもの頃、両親と祖父母と一緒に買い物に行った懐かしい思い出があります。年に数回会える祖父母におもちゃを買ってもらい、食堂でお子様ランチを食べました。改めて両親を連れて、たてものを鑑賞しに行きたいです。その時は祖父母も天国からかけつけてくれるかもしれません。

〈神奈川県 Maki様 女性〉

私の住む木津川市も年々移住される方が増えています。それも関係して、いろいろな建物、プラネタリウムや廃墟カフェ等建てられてきています。

〈京都府 T・T様 女性〉

最近家具工事を大工工事で行うことが多くなりました。そこで家具金物を使うのですが、選択が難しいです。家具ごとの金物提案があるとわかりやすいと思います。

〈長野県 F・T様 男性〉

編集後記

アトムリビンテックの本社があります台東区、とりわけ上野駅周辺は、ル・コルビュジエ設計による国立西洋美術館の世界文化遺産登録決定で沸いています（今ではだいぶ落ち着きましたが）。今まで何度か訪問したことはありましたが、展示内容ばかりに気を取られ、建物自体をさほど意識したことはありませんでした。次回訪問時はじっくり「世界遺産」を噛みしめてこようと思います。当美術館はじめ、上野公園には数々の美術館、博物館、その他観光名所が詰まっています。読者の皆さまも機会がありましたら一度お出かけください。ポケモンのゲームをやる方もぜひ（笑）。

〈隆盛&ツン〉

INFORMATION

アトムCSタワー公式HP

1階ギャラリーショップKANAGU  
新着アイテムのご紹介やイベント情報、  
ATOMNEWS関連記事をお届けしています。

☞ <http://www.atomlt.com/cstower/>

「アトムCSタワー」で検索してください。  
アトムリビンテック公式HPからもご覧になれます。



見てね!



開発部 課長 栗本章

商品開発およびISO関連業務を担当

私の趣味は読書です。その時々で興味の湧いた本を読む乱読派で、系統立てて読んでいるわけはありません。それでも20年以上も読み続けられ、読書全般のことを書き始めるとキリがないため、本コーナーの趣旨とは若干離れるかもしれませんが、1冊の本を紹介したいと思います。

色川武大の本を初めて買ったのは19歳の頃だったと思いますが、当時の私は未熟で、その魅力がわからず、斜め読みしかしていませんでした。ところが社会人となり、一人前に人間関係に悩んでいた20代半ばの頃に読んだのが『つらおもて人生録』で、著者の色川は、自身がドロドロの無頼な生活の中から学び得た人生のセオリーを悩める読者に向けて、限らない優しさをもって語りかけてきます。

成功した人物が人生を語ると、どうしても上から目線になりがちですし、書いた側はそれで成功（や問題を解決）しても、読んだ側とは条件も環境も違うため参考にならないことも多いのですが、本書はいつの時代にも変わらない「人間」というものの心の動き、個人が人間の集団に社会にどうやって参加し、生きるべきかの原理原則が書かれており、私のほとんど唯一の人生の指南書となりました。

こういった本や読書経験は、実は例外中の例外で、普段はもっぱら娯楽としての読書を楽しんでいます。最近になってまた、昔のように純文学や古典も読もうかな、と思っています。



休日(オフタイム)に2人の娘とくつろいでいるところです。  
本の写真は、つまらないので

個人情報の取り扱いについて

アンケートや読者プレゼントにご応募いただいた皆さまの個人情報は、読者プレゼントおよび「ATOMNEWS」の発送にのみ使用いたします。ご本人の承諾のない限り、第三者に提供することはありません。また、ご応募の集計結果は個人を識別できない形で管理の上、「ATOMNEWS」の企画・編集・制作の参考にさせていただきます。



住まいの金物  
取りそろえました。



New!

[www.atomlt.com/catalog/](http://www.atomlt.com/catalog/)

住まいの飾り職人  
**ATOM LIVINTECH アトムリビントック株式会社**

■本社 / 〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4 TEL.03-3876-0600 (代表)  
 特 販 事 業 部 TEL.03-3876-0603 FAX.03-3876-8833  
 卸 売 事 業 部 TEL.03-3876-0602 FAX.03-3876-4435  
 ■アトムCSタワー / 〒105-0004 東京都港区新橋4-31-5  
 アーバンスタイル事業部 TEL.03-3437-3673 FAX.03-3437-3565  
 亜吐夢金物館 TEL.03-3437-3440 FAX.03-3437-3565

■アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所 / 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18-5  
 TEL.06-6821-7281 FAX.06-6821-7282  
 ■札幌営業所 / 〒060-0907 北海道札幌市東区北七条東三丁目28-32 井門札幌東ビル1F  
 TEL.011-748-3113 FAX.011-753-3015  
 ■前橋営業所 / 〒371-0805 群馬県前橋市南町3-72-7  
 TEL.027-223-2651 FAX.027-223-2661  
 ■広島営業所 / 〒733-0031 広島県広島市西区観音町16-9 みさおビル1F  
 TEL.082-291-4235 FAX.082-291-4880



<http://www.atomlt.com>